



日々の教育・保育・子育て支援の中で「絵本」と触れる機会が多いです。先日、園用の絵本を購入するためにカタログを見ていた時のことです。ピックアップしていく絵本は私が子どもの頃に好んで読んでいた絵本、そしてクラスで子どもに読み聞かせしている絵本が多いことに気づきました。内容を知っているという安心感もありますが、自分の心に残っていることや子どもの反応が良かったなどから選んでいるのだと感じました。

では、子どもは何を思い絵本を選んでいるのか？と考えた時、読んでもらって楽しかった・表紙のイラストからイメージが膨らみ、読んでみたいと思ったなどではないかと考えます。

実際に子どもが絵本を読んでいる姿を見ると、たくさんある中から同じ絵本を何回も読んでと持って来ます。それは、子どもにとっても知っている安心感や心に響くものがあつたからではないでしょうか。

私が子どもに絵本を読む時に意識していることがあります。それは“楽しい”と感じられるようにすることです。対象年齢や絵本の内容にもよりますが、主に乳児クラスに入る私が心掛けていることは、イメージを持ちやすいように感情を込める、強弱をつける、間を作るなど子どもが期待を持てるような読み方をしています。また、絵本のとりかかりとして音楽を用いた絵本もよく使っています。絵本だけ、音楽だけではイメージを持ちにくい子ども、絵本と音楽が加わることで興味を持ちやすくなるようです。実際に子育て支援で毎回絵本の読み聞かせをしているのですが、音楽絵本の時の方が低月齢児も興味を持ちやすく集中している姿があります。そして好きになると、やはり毎回のようにリクエストがあります。

“絵本が楽しい”というきっかけから絵本が好きになると、子どもたちは絵本の世界の中でイメージを膨らませたり疑似体験をしたりと日常では味わえないことを経験できるようになります。それは心が豊かになるということです。そのために、絵本が好きになるきっかけ作りがとても大切だと考えます。

まだまだ経験していないことが、たくさんある子どもたち。その子どもたちが絵本の中の世界を経験することで得られる感情はたくさんあります。豊かな感性を育む一つとして絵本は、とても重要です。子どもが初めて出会う絵本も多くあります。文字が読めるようになっても読んでもらうことが大好きな子どもたち。絵本が楽しい・素敵な世界だと感じられるように丁寧に読み聞かせを行い、世界をたくさん広げていけるようにしたいと思います。

(2020年1月)

